

# 新型コロナウイルス感染症対策調査

## 調査報告書

2021年7月

国際芸術祭「あいち」組織委員会

## 目次

---

1章	調査の趣旨	1
2章	本県及び他県等の新型コロナウイルス感染症対策事例調査結果	2
1	本県の新型コロナウイルス感染症対策事例調査結果	
(1)	愛知芸術文化センター 愛知県美術館	4
(2)	愛知芸術文化センター 愛知県芸術劇場	6
2	他芸術祭の新型コロナウイルス感染症対策事例調査結果	
(1)	ヨコハマトリエンナーレ 2020	9
(2)	東京ビエンナーレ 2020/2021	13
(3)	バンクシー展 天才か反逆者か (名古屋)	16
(4)	東京博物館 特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」	19
(5)	市原市/房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス 2020+	23
3	他県等の新型コロナウイルス感染症対策事例調査結果	
(1)	美術館・博物館	
	六本木ヒルズTCV (展望台)	25
	六本木ヒルズ森アーツセンターギャラリー	28
	六本木ヒルズ森美術館	30
	森ビルデジタルアートミュージアム	32
	スヌーピーミュージアム	35
	武蔵野美術大学美術館・図書館	37
	大阪城天守閣	39
	大阪市立東洋陶磁美術館	41
	京都府立京都学・歴彩館	43
	名古屋港ポートビル・南極観測船ふじ	45
	豊田市美術館	47
(2)	劇場	
	ウェスタ川越	49
	日暮里サニーホール	51
	ムーブ町屋	53
	川崎市民プラザ	55
	びわ湖ホール	57
	ロームシアター京都	59
	京都府立文化芸術会館	61
	京都府立府民ホールALTI	63

	穂の国とよはし芸術劇場	65
	豊田市コンサートホール・能楽堂	68
	刈谷市総合文化センター	70
	国立劇場おきなわ	72
3章	国際芸術祭「あいち2022」に向けた新型コロナウイルス感染症対策案	
1	共通事項	75
2	現代美術展等の会場運営業務	75
3	まちなか会場の会場警備・清掃業務	77
4	チケット販売・管理業務	78
5	入場券管理センターの運営業務	78
6	電子チケットの導入業務	78
7	オフィシャルグッズ制作及び公式ショップ運営業務	78
8	ボランティア管理業務	79
9	その他業務に関連、付随する業務	79
4章	収支計画及びチケット制度等の運営体制案	
1	収支	82
	(1) ヨコハマトリエンナーレ2020の事例	82
	(2) 国際芸術祭「あいち2022」の予測	83
	(3) 国際芸術祭「あいち2022」の見込	84
2	チケット制度	85
3	その他	85

**1章 調査の趣旨**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下における国際芸術祭「あいち 2022」の開催を想定し、県内外の芸術祭や大規模な展覧会等における新型コロナウイルス感染症対策の調査を行い、国際芸術祭「あいち 2022」で必要な取組等を洗い出す。

また、国際芸術祭「あいち 2022」への来場者の密集を避けるため入場制限を行う場合など、入場者数及び入場料収入の減少が見込まれることから、その影響を分析し、国際芸術祭「あいち 2022」開催年の収入及びチケット制度等の運営体制の検討を行う。

## 2章 本県及び他県等の新型コロナウイルス感染症対策事例調査結果

### 2章 本県及び他県等の新型コロナウイルス感染症対策事例調査結果

愛知県及び他県等の新型コロナウイルス感染症対策事例調査を実施した。

#### 【調査項目】

##### 1 運営について

- (1) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
- (2) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
- (3) 入場方法
- (4) 展示の案内
- (5) 消毒液の設置の有無、設置場所
- (6) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
- (7) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
- (8) マスク着用の義務付けの有無
- (9) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
- (10) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
- (11) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
- (12) オンライン観覧の有無、代替プログラム
- (13) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
- (14) スタッフ、ボランティアの対策  
（マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等）
- (15) 協賛の状況について
- (16) オープニングイベントにおける対策
- (17) ボランティア等のガイドツアーの実施
- (18) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無

##### 2 開催判断について

- (1) 延期、中止の判断のタイミング・基準

#### 【調査対象】

##### 1 本県の新型コロナウイルス感染症対策事例調査

- (1) 愛知芸術文化センター 愛知県美術館
- (2) 愛知芸術文化センター 愛知県芸術劇場

##### 2 他芸術祭の新型コロナウイルス感染症対策事例調査

- (1) ヨコハマトリエンナーレ 2020

- (2) 東京ビエンナーレ 2020／2021
  - (3) バンクシー展 天才か反逆者か (名古屋)
  - (4) 東京博物館 特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」
  - (5) 市原市／房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス 2020+
- 3 他県の新型コロナウイルス感染症対策事例調査
- (1) 美術館・博物館
  - (2) 劇場

## 1 本県の新型コロナウイルス感染症対策事例調査結果

### (1) 愛知芸術文化センター 愛知県美術館

#### ア 運営について

##### (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・20名以上の団体の来館は、「団体鑑賞申込書」にて事前申込が必要。

##### (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

###### ・チケットの種類

一般、高校・大学生、中学生以下の3種類を販売。  
展覧会によっては、中学生以下無料の場合もある。

- ・チケット種類別の売上枚数は、公開なし。

###### ・チケットへの記載事項

金曜日は、20時まで（入館は閉館の30分前まで）  
同時開催のコレクション展もご覧いただけます。

20名以上の団体料金、前売券はございません。

「身体障害者手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」、「療育手帳」のいずれかをお持ちの方、「第1種」又は「1級」と記載がある方に付き添われる方は、1名まで当日料金が半額になります。

##### (ウ) 入場方法

- ・混雑状況により、入場者数制限導入。

##### (エ) 展示の案内

- ・壁や展示ケースには手を触れないよう案内。

##### (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・入館口、受付にアルコール消毒液を設置。

##### (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）

- ・館内消毒、清掃を強化。

##### (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）

- ・入館時にサーモグラフィーカメラで検温。
- ・体温が37.5度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
- ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- ・コレクション展については、払い戻しあり。

（これまでの実績はなし）

##### (ク) マスク着用の義務付けの有無

- ・マスク着用を義務付け。
- ・マスク未着用の場合は、入館不可。

- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・下記の方には来場を控えるよう案内。
    - 37.5度以上の発熱、咳、くしゃみの症状がある方
    - 体調が良くない方
  - ・海外からの入国翌日から起算して14日以内の方は、入館不可。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
  - ・来館者に来館の日時、代表者の氏名・連絡先（電話番号又は、メールアドレス）、来場者人数を用紙に記入を依頼。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・トライアログ（2021年4月23日（金）～6月27日（日）開催）までは、実績なし。
  - 企画展は、主催者が派遣の有無を決めている。
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・実施なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・ミュージアムショップは、10階美術館ロビーにて営業中。
  - ・レジカウンターには、飛沫感染防止パネルを設置。
  - ・展覧会によって、ECサイトの実施あり。
  - ・企画展のショップは、主催者により実施を決定している。
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - （マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等）
  - ・スタッフの健康管理（検温、マスク着用、手洗い及び手指の消毒）の徹底。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・主催者により異なる。
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・事業者主催イベントについては施設のガイドラインに沿った対策をして実施。
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）
  - ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「ご来館されるみなさまへのお願い」
  - ・「連絡先記入のお願い」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・愛知県の要請に沿って判断する。

## (2) 愛知芸術文化センター 愛知県芸術劇場

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・オンラインチケットサービス、窓口、電話等で予約可。
  - ・入場時に 37.5 度以上の発熱が確認された場合、購入済みのチケットを払い戻す。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・主催者により異なる。
- (ウ) 入場方法
  - ・通常より定員を少なくするとともに、混雑状況により、入場制限を実施（収容率を定員の 50%以内とする）。公演の内容によっては、定員 100%で実施する公演もある。
  - ・公演チケットは、来場者自身でもぎり、受付スタッフが目視で確認を行う。
  - ・チラシ、プログラム等の手渡しによる配布は、行わない。
- (エ) 展示の案内
  - ・各ホールのホワイエに感染拡大予防対策ポスターを設置。
  - ・入口扉前及び楽屋内に身体的距離を確保するためのサインを設置。
  - ・フォーラムの待機列（ホワイエ内トイレ入口、エレベーター前・内等）の足元にサインを設置。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・会館、会場の出入口及び館内各所、各ホールのホワイエ及び楽屋管理室前にアルコール消毒液を設置。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・専門業者による定期除菌。
  - ・センター内の換気と消毒及び清掃を定期的を実施。
  - ・劇場内は、光触媒による抗菌コートを実施済。
- (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・入館、入場時にサーモグラフィカメラ、非接触体温計による体温確認。37.5 度以上の発熱が確認された場合は入館不可。
  - ・貸出し用のサーマルカメラを大ホール、コンサートホール（各 2 台）、小ホール、リハーサル室（各 1 台）に用意（設営、体温確認は利用者が行う。）。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。
  - ・マスク未着用の場合は、入館不可。

- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
- ・次の方は、来館又は入場を遠慮いただくよう案内。  
発熱、咳こみ、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、  
鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、  
頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状のある方  
PCR検査で陽性とされた方との濃厚接触がある方  
過去2週間以内に、入国制限、入国後の観察期間を必要と  
される国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触の  
ある方
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、  
連絡体制や方法
- ・出演者、来場者については、主催者が管理する。
  - ・感染者が発生し、クラスターが確認された場合は、愛知県を通じて、関係省庁に報告し、チェックリストを提出。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
- ・主催者により異なる。
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
- ・L I V E配信、オンライン公演を実施。
- (ス) ミュージアムショップ、E Cサイトの導入
- ・愛知芸術文化センター内ミュージアムショップでは、未導入だが、公演によってはグッズ販売に制限があるため、導入されるケースがある。
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
- ・スタッフは、マスク、必要に応じてフェイスシールド、手袋を着用。
  - ・ボランティアの活用なし。
- (ソ) 協賛の状況について
- ・主催者により異なる。
- (タ) オープニングイベントにおける対策
- ・主催者は、(ツ) の条件を基準に対策を決めている。
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
- ・実施なし。

(ツ) その他（特記すべきこと）

ガイドライン・マニュアルの提供の有無

- ・「感染防止策の実施状況チェックリスト」
- ・「愛知県芸術劇場主催公演にご来場される皆様へのお知らせとお願い（新型コロナウイルス感染症関連）」
- ・「イベントにおける感染発生時のチェックシート」
- ・「新型コロナウイルス感染拡大予防対策のお願い」

イ 開催判断について

(ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準

- ・主催者が決定を行う。

主催者は、館が定める規則やお願い事項、及び各業界のガイドラインを総合的に検討し、決定する。

## 2 他芸術祭の新型コロナウイルス感染症対策事例調査結果

### (1) ヨコハマトリエンナーレ 2020

会期：2020年7月17日（金）～10月11日（日）

#### ア 運営について

##### (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・会場内の密集回避のため、日時指定予約チケットの導入（30分毎の販売枚数を設定し、販売）。
- ・オンラインチケットで空きがある場合は、会場（横浜美術館、プロット48）のチケット販売窓口で購入可能（開場日のみ・閉場30分前まで）。
- ・日時変更、払い戻し、再発券は、不可。

##### (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

###### ・チケットの種類

一般、大学生・専門学校生、高校生の3種類販売。  
中学生以下・障害者とその介護者1名は無料(事前予約不要)。

###### ・チケット種類別の売上枚数は、公開なし。

###### ・チケットへの記載事項

ヨコハマトリエンナーレ2020チケットで、横浜美術館、プロット48、日本郵船歴史博物館に入場できます。

障害者手帳をお持ちの方と介護の方（1名）は無料です（事前予約不要）。

チケットは、未使用であっても日時変更、払い戻し、再発券はできません。キャンセル待ちは、受け付けておりません。

チケットの追加販売がある際は、公式Webサイトにてお知らせします。

営利目的のチケット転売は、禁じられております。二次販売サービスやオークション等で転売されたチケットであると判明した場合は、入場できません。予めご了承ください。

入場は入れ替え制ではありません。

団体受入れ及び団体割引は、行っておりません。

各種チケット割引をご利用の方は、横浜美術館又はプロット48のチケット販売窓口にてお買い求めください。

##### (ウ) 入場方法

- ・来場者同士の間隔が十分に確保されるよう事前予約制、横浜美術館の入場者数を30分ごとに設定。
- ・会場内の密集回避のため、プロット48についても、横浜美術館と同日に限り、入場可能とした。
- ・会期中は、政府の方針に沿って、段階的に制限人数を緩和。

(エ) 展示の案内

- ・入口に「新型コロナウイルス感染症予防対策実施についてのご案内」のサイン設置。
- ・総合案内、チケット販売窓口等には、対面箇所に飛沫ガードを設置。
- ・各場所に展示サイン、係員が指示。
- ・フロアマーカール等を設置し、来場者同士の距離を確保。
- ・展示作品ごとの感染予防(使い捨てVRゴーグル用マスクや、ヘッドホンカバーの使用、暗幕カーテンの設置方法の変更)。

(オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・入場前の入口、触ることができる作品や、靴を脱いで体験する作品の入口、ゴーグルやヘッドホン使用場所に設置(ゴーグルは目の周りを覆うシート、ヘッドホンはイヤークバーもその都度、付け替える)。
- ・貸し出し用の傘の持ち手も消毒。

(カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無(頻度、方法)

- ・会場内(ソファや手すり、エレベーター等)の清掃、換気、手が触れる場所の定期的な消毒を実施(清掃頻度は1日4回程度)。

(キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応(入場拒否時の補償)

- ・各会場にサーモグラフィ設置、37.5度以上の発熱が確認された場合は、入場不可。
- ・入館拒否時の補償の有無について、回答なし。

(ク) マスク着用の義務付けの有無

- ・来館者は、マスク着用を徹底。
- ・総合案内、チケット販売窓口等には、対面箇所に飛沫ガードを設置。

(ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票

- ・発熱、風邪の症状、体調不良。

(コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法

- ・感染者が発生した際には、保健所等の公的機関による聞き取り調査に協力できるよう、チケット購入時又は入場時に連絡先の提供を依頼。

(サ) 看護師の派遣(常駐)の有無、人数、派遣期間

- ・回答なし

- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
- ・オンライン上で展覧会を 360 度のパノラマビューで鑑賞できる「ヨコハマトリエンナーレ 2020 バーチャルツアー」を公開。会場ごとにパソコン、タブレット、スマートフォンでバーチャルツアーに対応。
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
- ・横浜美術館オンラインショップで図録、グッズの購入可能。
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
- (マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
- ・スタッフ全員が定期的に検温と体調確認。
  - ・マスクやフェイスシールド、手袋の着用等、案内員の適切な防護対策を実施。
- (ソ) 協賛の状況について
- ・2017 年  
日産自動車株式会社、三井不動産グループ、三菱地所グループ、株式会社エヌ・シー・エヌ、スターツグループ、すてきなイスグループ株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社高島屋 横浜店、株式会社富士通エフサス、銘建工業株式会社、森ビル株式会社、株式会社横浜銀行、上野トランステック株式会社、NTT 東日本、株式会社大林組、公益財団法人 大林財団、川本工業株式会社、株式会社キタムラ、株式会社崎陽軒、株式会社サカタのタネ、NEC、原鉄道模型博物館、富士ゼロックス株式会社、横浜信用金庫  
(協賛金額) 45,798,299 円
  - ・2020 年  
日産自動車株式会社、株式会社野村総合研究所、三井不動産グループ、三菱地所グループ、株式会社 JVC ケンウッド、スターツグループ、大日本印刷株式会社、株式会社高島屋 横浜店、森ビル株式会社、株式会社横浜銀行、上野トランステック株式会社、NTT 東日本、株式会社大林組、川本工業株式会社、株式会社キタムラ、株式会社崎陽軒、株式会社サカタのタネ、東レ株式会社、NEC、原鉄道模型博物館、横浜信用金庫、株式会社ルミネ ニュウマン横浜店  
(協賛金額) 46,447,062 円

(タ) オープニングイベントにおける対策

- ・回答なし

(チ) ボランティア等のガイドツアーの実施

- ・ガイドサポーター向けの研修は、2020年2月下旬から9月上旬まで実施した。
- ・従来、会場内で実施していたガイドツアーは見送り、オンラインを利用した「オンラインガイド ココがみどころ！」を実施した。

(ツ) その他（特記すべきこと）

ガイドライン・マニュアルの提供の有無

- ・開催にあたっては、国及び県の方針に従い、日本博物館協会が示すガイドラインに沿って感染症対策を実施。
- ・「新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みと来館時のお願い」
- ・「新型コロナウイルス感染症対策」
- ・「記録集・報告書」

イ 開催判断について

(ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準

- ・回答なし

## (2) 東京ビエンナーレ 2020/2021

会期：2021年7月10日（土）～9月5日（日）

### ア 運営について

#### (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・パスポート、個別鑑賞券（作品ごと）の2種類のチケットで、日時指定の予約制。
- ・電子チケット、紙チケットを事前にチケットぴあ又は、ArtStickerにて購入。
- ・当日は、インフォメーションセンターもしくは、自身の端末から、チケット販売ページにて、電子チケット又は紙チケットの購入が可能。
- ・各会場で鑑賞券の現金購入は、なし。
- ・チケットの日時変更、払い戻し、再発券、キャンセル待ちの対応なし。

#### (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

##### ・チケットの種類

パスポート 一般、学生

個別鑑賞券（作品毎） 一般、学生（中学生以下は無料）

※学生チケットの対象は、高校生、高専、大学生、専門学校生であり、学生証の提示ができる方に限る。

##### ・チケット種類別の売上枚数は、現在開催中のため、不明。

##### ・チケットへの記載事項

チケットは、未使用であっても日時変更、払い戻し、再発券はできません。

キャンセル待ちは、受け付けておりません。

チケットの追加販売がある際は、公式Webサイトにてお知らせします。

営利目的のチケット転売は禁じられております。二次販売サービスやオークション等で転売されたチケットであると判明した場合は、入場できません。予めご了承ください。

入場は入れ替え制ではありません。

入場前に体温測定し、37.5度以上の発熱がある場合は、入場をお断りさせていただきます。

保健所等の公的機関による聞き取り調査等にご協力いただく場合があるため、必要に応じて、チケット購入時又は入場時に連絡先をご提供いただきます。

- (ウ) 入場方法
- ・日時指定の予約制で、感染拡大状況により、人数制限を設けた。
- (エ) 展示の案内
- ・回答なし
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
- ・回答なし
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
- ・全ての屋内会場では換気を行う。機械での換気を行うことが難しく、2方向の通気も難しい場合は、サーキュレーター等を導入して空気の流れを生じさせ、換気を行う。
  - ・会場の収容能力は、使用空間の床面積（㎡）を4㎡で除した値とする。会場の収容能力を超過しないよう、制限を行う。
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
- ・入場前に検温。
  - ・37.5度以上の発熱が確認された場合は、入場不可。
  - ・入館拒否時の補償の有無について、回答なし。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
- ・回答なし
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
- ・回答なし
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
- ・保健所等の公的機関による聞き取り調査等がある場合に備え、必要に応じてチケット購入時又は入場時に連絡先の提供を依頼。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
- ・回答なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
- ・スマートフォンでアプリを使ってストーリー動画・音声等の+EX体験ができる。
  - ※+EX体験とは、2020/2021のパスポートをお持ちの方が、スマートフォンをかざすと、AR作品や東京の文化、歴史、作品の文脈を語るストーリーテラーたちが現れる。
  - EXとは、E x p e r i e n c e（=体験）であり、E x t r a（=特別）を意味する。
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
- ・オンラインストア、オープン予定。

- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - (マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・業務前に体温チェック、体調チェックを行い一元管理する。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・回答なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・マスク着用（主催者、その他参加者全員）、席と席の間隔を空ける対策を行った。
  - ・オンライン会議システムを使用し、実施した。
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・回答なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・政府や東京都等から公表された感染拡大防止対策に関するガイドライン等を踏まえ、感染症対策を実施。
  - ・「新型コロナ感染拡大防止の取り組みについて」

イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・回答なし

(3) バンクシー展 天才か反逆者か (名古屋)

会期：2021年2月3日(水)～6月20日(日)

ア 運営について

(ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・スマートフォンでの日時指定前売チケット推奨(スマートフォン画面で受付可)。
- ・プレイガイド(eプラス、チケットぴあ、ローソンチケット)、当日窓口で販売。
- ・購入後のチケットキャンセル、変更は不可。
- ・日時指定券、平日いつでもチケット、招待券の種類あり。
- ・チケットには、購入後のチケットの変更・キャンセルはできませんと記載。

(イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

- ・チケットの種類別の売上枚数は、非公開。
- ・チケットへの記載事項  
「キャンセル、日時の変更不可」  
「QRコードを忘れた場合は入場できません。」  
「チケットの転売禁止」  
「開場時間に変更になる場合があります。」  
「音声ガイドの案内」

(ウ) 入場方法

- ・日時指定券により、入場。
- ・混雑防止のため、入場制限を実施。

(エ) 展示の案内

- ・入口と各展示室に「新型コロナウイルス感染予防対策実施についての案内」サインを設置。
- ・総合案内、チケット販売窓口等には、対面箇所には飛沫ガードを設置。
- ・入場待ち列には、足元シール等を設置し、来場者同士の距離を確保。
- ・各自のスマートフォンでの音声ガイドを実施。

(オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・入場口と展示室入口にアルコール消毒液を設置。

(カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無(頻度、方法)

- ・換気の徹底及び温・湿度の調整。
- ・定期的に館内各所の消毒清掃。

- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
- ・ 入口で入場前にサーモグラフィーカメラで検温。
  - ・ 37.5度以上の発熱が確認された場合は、別の機器で再度、検温し、37.5度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
  - ・ 入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
- ・ 来館者は、マスクか口元を覆う布を着用。着用しない場合は、入館不可。
  - ・ マスク未着用の方に対し、無償でマスクを配布。
  - ・ マスクの着用ができない方には、首からパスをかける対応。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
- ・ 発熱や風邪、味覚障害の症状がないか。
  - ・ 体調は悪くないか。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
- ・ 紙チケットは、感染症対策のため、チケットの半券(入場時に切り取る右側部分)に、来場者の氏名・電話番号を事前に記入。
  - ・ 感染が発生した際には、感染拡大防止のため、保健所からの要請を受けて提出。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
- ・ なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
- ・ なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
- ・ なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
- ・ ボランティアの活動はなし。
  - ・ スタッフは出勤時に体温チェック、入館時に検温を行う。
  - ・ スタッフのマスク着用を義務付け。
  - ・ こまめな手洗い、手指消毒を行う。
  - ・ 休憩室は、運営スタッフと他のスタッフを分けて利用する。
- (ソ) 協賛の状況について
- ・ 主催者、出資者が民間企業のため、回答なし。
- (タ) オープニングイベントにおける対策
- ・ 一般のオープニングイベントはなしで、関係者のみ招待し、内覧会を実施。

(チ) ボランティア等のガイドツアーの実施

- ・ガイドツアーは実施しなかったが、一般の方には、各自のスマートフォンを使って音声ガイドを利用できるようにした。

(ツ) その他（特記すべきこと）

ガイドライン・マニュアルの提供の有無

- ・名古屋市のガイドラインに沿って実施。
- ・「ご来場の皆様へのお願い」
- ・「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（名古屋市）」

イ 開催判断について

(ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準

- ・美術館という扱いで、政府からの要請に従って、延期・再開の判断をした。

(4) 東京博物館 特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」

会期：2021年4月13日（火）～6月20日（日）※4月25日（木）  
～5月31日（火）は、緊急事態宣言に伴い、休館

ア 運営について

(ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・オンライン又はコンビニで日時指定券の事前予約が必要（枠に余裕があれば、当日券の販売を実施。）。
- ・アソビューで購入のみ日時変更、キャンセル可能。
- ・臨時休館の間のチケットは、全て払い戻し可能。会期終了後も払い戻しを実施。
- ・入館時に平熱以上と認められた場合は、入館不可。チケット代払い戻し実施。

(イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

- ・チケットの種類  
一般・大学生・高校生・無料日時指定券
- ・チケットの種類別の売上枚数は、回答なし（民間企業が主体のため。）。
- ・チケット記載事項  
「混雑緩和のため予約の時間より前に来ないよう」  
「観覧環境保持のため90分以内を目安に観覧ください。」  
「入場指定時間にかかわらず、入場及び館内でもお待ちいただくことがあります」  
「ご来館前に公式サイトに記載の注意事項を必ずお読みください。」

(ウ) 入場方法

- ・収容の人数制限を実施。事前予約制とし、チケットの指定時間枠以外は入場できない。
- ・日時指定券画面か、画面を印刷したものを入口の係員に提示。
- ・混雑を防ぐため入場制限を実施。誘導に従い、入場。
- ・チケットには、「チケットに書かれている時間内はいつでも入館していただけます」、「最初の時間帯は混雑が予想されるので、少し遅めの入館をおすすめします」という文面を記載。

(エ) 展示の案内

- ・混雑緩和のため、館内の滞在時間は、ショップを含めて90分以内を目安での観覧を案内。
- ・入口と各展示室に「新型コロナウイルス感染予防対策実施についての案内」サイン設置。
- ・展示室内が混み合うため、スタッフが距離をあけて並ぶように案内。
- ・インフォメーション等対面箇所では、飛沫感染防止用アクリルパネルの設置。

(オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・入館口、各展示室にアルコール消毒液の設置。

(カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）

- ・博物館の警備部門の職員が、随時、濃厚接触者のロッカー等を念入りに数回拭き掃除、アルコール消毒液の補充。
- ・密にならないようにという物理的な部分と、換気部分の二酸化炭素濃度を確認しながら、いつもより強く換気。

(キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）

- ・入館前に正門でサーモグラフィカメラによる検温。検温時に平熱以上の体温の方には、平熱を伺い、発熱と認められた場合は入館不可とした（実際には該当者なし）。  
※昨年、日本博物館協会のガイドラインで、「平熱以上の体温の方は入館不可」と変更になった。
- ・入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。

(ク) マスク着用の義務付けの有無

- ・正門でマスク着用と、鼻を出している方にはマスクで鼻を覆うよう依頼。
- ・マスク未着用の方に対し、無償で使い捨てのマスクを配布。
- ・呼吸器系のトラブル等でマスクができない方には、ハンカチ等のマスクに近いもので口元を覆っていただくよう依頼。
- ・未就学児のマスク着用の義務付けなし。
- ・実際には、マスク未着用の方はほとんどいなかった。

(ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票

- ・Webページ上では、「咳き込みや発熱等の症状のある場合は入館をご遠慮ください」という案内（実際に咳き込んでいる方に厳しく入館を不可するという事はなかった）。

- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
- ・チケットは、オンラインでの予約制のため、連絡先は入力してもらっている。感染者が出た場合は、Web ページ上で情報を掲載し、自分自身で来館された日の状況を確認してもらう。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
- ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
- ・特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」は、オンライン実施なし。
  - ・博物館の常設展は、休館前はオンラインを実施。
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
- ・閉幕後も、本展図録とオリジナルグッズは通販サイトの朝日新聞SHOP、セブンネットショッピング、銀座蔦屋オンラインショップ、アートボックスオンラインストアで購入可能。
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
- (マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
- ・スタッフ（搬入業者等全ての関係者）の検温及び健康状態の確認。スタッフは、出勤前の検温、職員用入口で検温。
  - ・マスク以外にも、お声がけしないといけない等の場合は、飛沫が飛びにくいようフェイスシールドや手袋を着用。
  - ・スタッフの休憩時（食事時）は、時間を分けて人数を調整し、休憩場所を増やして対応。食事時に、万が一、スタッフに感染者がでた場合にも、濃厚接触者とならないよう、レイアウトも対面式にならないように設置。
- (ソ) 協賛の状況について
- ・鳥獣戯画展の協賛企業は、開示されていないので、不明。
- (タ) オープニングイベントにおける対策
- ・オープニングイベントは実施しなかったが、お世話になったお客様の招待状の時間を30分位ずつずらして招待し、密にならないよう作品を見ていただいた（音声ガイドの貸し出し有）。
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
- ・今回は、博物館の研究委員のガイドツアーはなく、有料での音声ガイドを実施した（1回600円（約30分））。
  - ・常設展は、ガイドツアーをやっていたが、コロナ禍後は、オンライン上でガイドツアーを随時、実施し、YouTube上で見ていただくようにした。

(ツ) その他（特記すべきこと）

ガイドライン・マニュアルの提供の有無

- ・日本博物館協会の「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、政府からの要請事項を遵守した。
- ・政府からの再開にあたっての方針としては、具体的な条件ではなく、業種や施設の種別毎のガイドライン（「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」）に沿って取り組むこと、全国の博物館の再開に向けては、施設が所在する都道府県の知事からの要請等を踏まえて適切に対応すると示されている。
- ・「東京都防災ホームページ」
- ・「新型コロナウイルスに関連した対応について」

イ 開催判断について

(ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準

- ・延期、再開等については、美術館という扱いで、文化庁、文部科学省、東京都庁の要請にしたがって、臨時休館・再開館の判断をした。

(5) 市原市／房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス 2020+

会期：開催延期中（日程未定）※開催延期中（日程未定）のため、各種運営内容について、検討中である。従って、公式Webページで公表されている情報を記載。

ア 運営について

(ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・作品鑑賞パスポートのキャンセル、変更は不可。既に販売を開始している作品鑑賞パスポート、イベントプログラムへの申し込み者には、払い戻し等の対応。

(イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

- ・開催前のため、不明。

(ウ) 入場方法

- ・屋内会場においては、予め定員数を定め、混雑時には入場制限を実施。

(エ) 展示の案内

- ・混雑時は、入場制限を実施。
- ・ソーシャルディスタンスをとってもらい、スタッフが誘導。
- ・受付は、飛沫防止のため、ビニールカーテンの設置やフェイスシールドを装着。

(オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・開催前のため、不明。

(カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）

- ・来場者が触れる部分を定期的に消毒。
- ・ゴミ袋等进行处理する際は、手袋を着用。
- ・原則として、常時、外気を取り入れている状態で開場。
- ・屋内の作品展示会場等では、常時開放を基本とする。
- ・換気が困難な場合は、30分ごとに5分程度の換気を行う。

(キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）

- ・来場者は入場前に検温。37.5度以上の発熱が確認された場合は、入場不可。
- ・入館拒否時の補償の有無について、未定。

(ク) マスク着用の義務付けの有無

- ・マスク着用を義務付け。
- ・マスク未着用の方に対し、有償で予備マスクを配布（金額不明）。

- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・最初に訪れた場所で、健康チェックシートの記入をし（内容次第で不可もあり）、確認した人にはリストバンドをつけて入場。
  - ・発熱や風邪の症状がないか、体調に不安がないか、37.5 度以上の発熱がないか等を確認。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
  - ・効果検証（鑑賞パスポートと来場者の紐付けによる動態調査）と連動し、来場者の行動履歴を把握。
  - ・作品制作等への参加者のリストを作成し、保管。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・開催前のため、不明。
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・開催前のため、不明。
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・開催前のため、不明。
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策（マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等）
  - ・スタッフと関係者は、全員マスク着用を義務付け。毎日の検温と健康チェックシートに報告。
  - ・接触確認アプリ（COCOA）を活用してもらう。
  - ・「鑑賞パスポートと来場者の紐付けによる動態調査」と連動し、来場者の行動履歴を把握。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・開催前のため、不明。
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・開催前のため、不明。
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・開催前のため、不明。
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「新型コロナウイルス感染症対策の指針」

## イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・検討中。

### 3 他県等の新型コロナウイルス感染症対策事例調査結果

#### (1) 美術館・博物館

##### ○六本木ヒルズTCV（展望台）

###### ア 運営について

###### (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・オンラインサイトから事前予約制（日時指定券）の導入（展覧会やイベントの内容、状況により異なる。）。
- ・払い戻しに関しては、基本は後日再入館を勧め、来館が難しい場合のみ、返金。

###### (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

- ・森美術館、東京シティビュー、森アーツセンターギャラリーのいずれかのチケットがあれば、展望台には、以下の追加料金で入場可能。
- ・チケットの種類  
一般、学生（高校・大学生）、シニア（65歳以上）が+500円、子供（4歳～中学生）が+300円。
- ・当日とオンライン購入では、金額が約200円異なる（オンラインの方が安い。）。
- ・チケットの種類別の売上枚数は、公開なし。
- ・チケットへの記載事項  
「森美術館、東京シティビュー、森アーツセンターギャラリーのいずれかのチケットをお持ちの方は、以下の追加料金でスカイデッキに入れます。」  
「新型コロナウイルス感染症対策及び最新運営情報（開館時間の変更等）は、施設や展覧会のWebページで御確認の上、御来館いただきますようお願いいたします（日・英）。」

###### (ウ) 入場方法

- ・入館者の人数制限を実施（日時指定制を導入しているので、基本、整理券対応なし。）。

###### (エ) 展示の案内

- ・対面時は、フェイスシールド（スタッフは任意。つけているスタッフは、現在ほぼいない。）、チケットカウンター、インフォメーションは、飛沫感染防止パーテーションを設置。
- ・エレベーターの人数制限 16～17⇒8人に制限。

###### (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・入館入口にアルコール消毒液を設置。
- ・チケットカウンターエリア5台。
- ・上層階全部で13か所（各施設入口、展望台内、トイレ前、展望台回廊内等）。

- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
- ・アルコール拭き取り清掃等の強化。
  - ・トイレのハンドドライヤーの使用中止。
- (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
- ・入館時に赤外線サーマルカメラによる体温モニタリング。
  - ・37.5 度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
  - ・入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
- ・マスク着用の義務付け（鼻と口を覆うこと）。
  - ・マスク未着用の方に対し、有償でマスクを配布（1 枚 100 円）。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
- ・発熱や風邪の症状がないか、体調に不安がないか、気分は悪くないか、問診票（日本語・英語）により確認。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
- ・連絡先を聞き取り。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
- ・六本木ヒルズに 1 名常駐。
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
- ・展覧会によって、あり（森美術館は、インスタライブで館長の説明付きで日・英実施。）。
- (ス) ミュージアムショップ、EC サイトの導入
- ・森美術館オンラインショップ  
<https://art-view.roppongihills.com/jp/shop/index.html>
  - ・展覧会によって、ショップ通販等あり。
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
- ・スタッフはマスクを着用し、一部スタッフはフェイスシールドを装着。
- (ソ) 協賛の状況について
- ・回答なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
- ・オープンがコロナ禍ではないため実施なし。行われる催事がオープンニングイベントの場合は施設のガイドラインに従う。
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
- ・回答なし

(ツ) その他 (特記すべきこと)

ガイドライン・マニュアルの提供の有無

- ・「新型コロナウイルス感染症対策への取り組みについて」
- ・「東京都防災ホームページ」

イ 開催判断について

(ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準

- ・政府や東京都の要請に従って、延期・再開の判断をした。

## ○六本木ヒルズ森アートセンターギャラリー

### ア 運営について

#### (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・オンラインサイトから事前予約制（日時指定券）の導入（展覧会やイベントの内容、状況により異なる。）。
- ・払い戻しについては、展覧会主催者によって対応が異なる。現在、開催のヒロアカ展は発熱を確認した場合は、返金。

#### (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

- ・チケットの種類は  
一般、高校・大学生、小・中学生。未就学児無料。
- ・チケットの種類別の売上枚数は、公開なし。
- ・チケットへの記載事項はないが、Webページに入館にあたってのお願いを記載している。
- ・チケットへの記載事項  
「森美術館、東京シティビュー、森アートセンターギャラリーのいずれかのチケットをお持ちの方は、以下の追加料金でスカイデッキに入れます。」  
「新型コロナウイルス感染症対策及び最新運営情報（開館時間の変更等）は、施設や展覧会のWebページでご確認の上ご来館いただきますようお願いいたします（日・英）。」

#### (ウ) 入場方法

- ・人数制限を実施（日時指定制を導入しているため、基本整理券対応はなし。）。

#### (エ) 展示の案内

- ・対面時は、フェイスシールド（スタッフは任意。つけているスタッフ、現在、ほぼいない。）やチケットカウンターやインフォメーションは、飛沫感染防止パーテーションを設置。
- ・エレベーターの人数制限 16～17⇒8人に制限。

#### (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・入館入口にアルコール消毒液設置。
- ・チケットカウンターエリア5台。
- ・上層階全部で13か所（各施設入口、展望台内、トイレ前、展望台回廊内等）。

#### (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）

- ・アルコール拭き取り清掃等の強化。
- ・トイレのハンドドライヤーの使用を中止。

- (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・入館時に赤外線サーマルカメラによる体温モニタリング。
  - ・37.5 度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
  - ・入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用の義務付け（鼻と口を覆うこと）。
  - ・マスク未着用の方に対し、有償でマスクを配布（1 枚 100 円）。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・発熱や風邪の症状がないか、体調に不安がないか、気分は悪くないか、問診票（日本語・英語）により確認。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
  - ・連絡先を聞き取り。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・六本木ヒルズに 1 名常駐。
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・展覧会によってあり（森美術館は、インスタライブで館長の説明付きで日・英実施）。
- (ス) ミュージアムショップ、EC サイトの導入
  - ・森美術館オンラインショップ  
<https://art-view.roppongihills.com/jp/shop/index.html>
  - ・展覧会によって、ショップ通販等あり。
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - ・スタッフはマスクを着用し、一部スタッフはフェイスシールドを装着。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・回答なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「新型コロナ感染症対策への取り組みについて」

## イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・政府や東京都の要請に従って、延期・再開の判断をした。

## ○六本木ヒルズ森美術館

### ア 運営について

#### (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・オンラインサイトから事前予約制（日時指定券）の導入（展覧会やイベントの内容、状況により異なる。）。
- ・森アーツセンターギャラリーのオンラインチケットの購入であれば、休館期間のチケットに関しては、払い戻し可能。

#### (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

##### ・チケットの種類

一般、学生（高校・大学生）、子供（4歳～中学生）、シニア（65歳以上）

- ・一般及びシニアは、当日窓口とオンラインで200円異なる（オンラインの方が安い。）。

- ・チケットの種類別の売上枚数は、公開なし。

##### ・チケットへの記載事項

「森美術館、東京シティビュー、森アーツセンターギャラリーのいずれかのチケットをお持ちの方は、以下の追加料金でスカイデッキに入れます。」

「新型コロナウイルス感染症対策および最新運営情報（開館時間の変更等）は、施設や展覧会のWebページでご確認の上ご来館いただきますようお願いいたします（日・英）。」

#### (ウ) 入場方法

- ・入館者の人数制限を実施。
- ・整理券の配布を導入。

#### (エ) 展示の案内

- ・対面時は、フェイスシールドや飛沫感染防止パーテーションを設置。
- ・エレベーターの人数制限。

#### (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・入館入口にアルコール消毒液を設置。

#### (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）

- ・アルコールでの拭き取り清掃等の強化。
- ・トイレのハンドドライヤーの使用を中止。

#### (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）

- ・入館時に赤外線サーマルカメラによる体温モニタリング。
- ・37.5度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
- ・入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。

- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け（鼻と口を覆うこと）。
  - ・マスク未着用の方に対し、有償でマスクを配布（1枚100円）。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・発熱や風邪の症状がないか、体調に不安がないか、気分は悪くないか、問診票（日本語・英語）により確認。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
  - ・なし
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・森美術館オンラインショップ  
<https://art-view.roppongihills.com/jp/shop/index.html>
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
（マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等）
  - ・スタッフ出勤前の体温、体調管理
  - ・Webページのトップページにイラストで、「新型コロナウイルスに関連した対応」について紹介。  
<https://chojugiga2020.exhibit.jp/>
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「新型コロナウイルス感染症対策への取り組みについて」

イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・政府や東京都の要請に従って、延期・再開の判断をした。

## ○森ビルデジタルアートミュージアム

### ア 運営について

#### (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・事前予約制による日時指定の電子チケット（展覧会やイベントの内容、状況により異なる。）を入館前に購入。  
状況によって、現地での当日券の販売を行う。
- ・公式Webページ、プレイガイド（ローチケ、セブンチケット、イープラス）で購入。
- ・原則、購入完了後のチケットのキャンセルは不可だが、体調不良により、来館できない場合は、チケットの払い戻し可能。
- ・施設への来場にかかる旅費等の保証は、営業中止の場合も実施していない。

#### (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

- ・チケットの種類  
大人、子ども、障害者割引
- ・チケットの種類別の売上枚数は、公開なし。
- ・チケットへの記載事項  
「チケット記載の入館時間に御入館いただけない場合もあります」  
「チケット転売は、禁止しております」  
「営業中止を除き、いかなる場合もチケットの払い戻しは行っておりません」  
「全長 50 センチ以上の荷物は、コインロッカー、荷物置き場をご利用ください」  
「御写真・動画の撮影は、可能ですが、他のお客様へのご迷惑が掛からないようにお願いします」

#### (ウ) 入場方法

- ・入館時間に会場入口の入館列に並び、誘導に従って入館する。
- ・日時指定券の入場制。
- ・滞在人数を通常時の半分以下に制限。

#### (エ) 展示の案内

- ・他のグループと十分な間隔を空けて鑑賞するよう声かけを実施。
- ・トイレ内のハンドドライヤーは停止。

#### (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・入館口にアルコール消毒液を設置（使い捨てビニール手袋も用意）。

- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・館内に抗ウイルスコーティングを実施。
  - ・除菌剤使用による巡回清掃を実施。
- (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・入館前にサーモグラフィカメラによる検温。  
検温にて 37.5 度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
  - ・入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用の義務付け（3 歳以下を除く。）。
  - ・マスク未着用の方に対し、有償でマスクを配布（1 枚 100 円）。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・入場前の検温で 37.5 度以上の発熱がないか。
  - ・風邪症状がないか、体調に不安がないか、気分が優れない等。
  - ・2 週間以内に発熱、咳等の症状がなかったか。
  - ・2 週間以内に外国から帰国又は渡航履歴がないか、該当者と濃厚接触がないか。
  - ・味覚や嗅覚に異常、異変がないか。
  - ・医療機関や保健所の指示のもと、P C R 検査中で陰性である確認が出ていない場合は、自宅待機。
  - ・濃厚接触者として、自宅待機期間中の方、家族が濃厚接触者として自宅待機期間中の方。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
  - ・当館内で新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、施設公式 W e b ページにて情報を掲出。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、E C サイトの導入
  - ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・スタッフの出勤前の検温、体調管理を行い、発熱等の風邪症状がある場合は自宅待機とする。
  - ・接客スタッフは、マスク着用と、一部スタッフは、フェイスガードを装着。
  - ・感染者発生時は、東京国立博物館 W e b ページにその情報を提出。

- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）
  - ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「新型コロナウイルス感染症対策について」

イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・政府や東京都の要請に従って、延期・再開の判断をした。

## ○スヌーピーミュージアム

### ア 運営について

#### (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・オンラインチケット e プラスで日時指定の前売券、当日券を販売。当日券は、人数に余裕のある場合のみオンラインと現地で販売。
- ・休館中の前売券を持っている場合は、来館してもらい、無料で振替対応（2021年12月末まで）。

#### (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

- ・チケットの種類  
一般・大学生、中学・高校生、4歳～小学生
- ・チケットの種類別の売上枚数は、公開なし。
- ・チケットへの記載事項  
「入れ替え制ではありませんので、ゆっくり来られることをおすすめします」  
「予約時間に遅刻した場合、当日に限り追加料金なしで御入館できます」  
「館内でのベビーカーのご使用はできません。入り口でお預かりします」  
「ストア、カフェのご利用は展覧会をご覧になってからとなります」

#### (ウ) 入場方法

- ・入館者の人数制限を実施。
- ・日時指定券による入場制。

#### (エ) 展示の案内

- ・待ち列やレジ待ち列に1メートル間隔のマーカーを設置。
- ・飛沫防止スクリーン設置。
- ・プログラム中の対面着席を避ける。
- ・5月中のワークショップは、中止。

#### (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・エントランス、出口、ワークショップルームの入口、ストアの入口に消毒液（次亜塩素酸水）を設置。

#### (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）

- ・館内は空調設備により、24時間換気。
- ・階段の手すり等館内は、清掃業者による定期的な清掃を実施。

#### (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）

- ・入館時に非接触体温計で体温を測定。
- ・37.5度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
- ・入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。

- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け（4歳未満は除く）。
  - ・マスク未着用の方に対し、無償でマスクを配布。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・発熱や咳がないか。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
  - ・なし
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・「スヌーピーミュージアム・オンライン」を実施。
  - アカウント登録をすると、チケット購入が可能。
  - チケット購入後、入場ボタンから視聴ページに入場。
  - 一般チケットは900円、リピーターチケットは630円(税込)。
  - リピーターチケットは、2回目以降ご利用の方が購入可能。
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・「スヌーピーミュージアム・オンライン」のアカウントを登録でオンラインストアの利用可能。
  - <https://online.snoopymuseum.tokyo/s/smo/?ima=2643>
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - (マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・スタッフはマスク、フェイスシールドを着用して案内。
  - ・接触確認アプリ（COCOA）を活用してもらう。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）
  - ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「感染症対策について」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・政府や東京都の要請に従って、延期・再開の判断をした。

## ○武蔵野美術大学美術館・図書館

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・入館無料。
  - ・「美術館入館予約」フォームに来館の前日までに予約。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・入館無料のため、チケットなし。
- (ウ) 入場方法
  - ・入館者及びその人数を把握するため、入口を美術館正面玄関に限定した。
  - ・15名以上での団体来館は、原則不可。
- (エ) 展示の案内
  - ・入館口に注意事項の設置あり。
  - ・トイレ、エレベーターの利用を一部制限。
  - ・ロッカーの使用禁止。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・美術館の正面入口、各施設の出入口、各フロア及びトイレ等にアルコール消毒液を設置。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・会場内は、空調設備により、外気を取り入れ、常時換気。
  - ・手すり等多くの方が触る場所については、適宜、消毒及び清掃を実施。
  - ・正午から0時30分、午後2時30分から3時は、消毒・換気のため、各回入れ替え制。
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・美術館正面入口の非接触体温計とサーモグラフィーにて、体温を測定。サーモグラフィーで37.5度以上の発熱が確認された場合は、再度、非接触体温計で測定。37.5度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
  - ・入館拒否時の補償の有無について、回答なし。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。
  - ・マスク未着用の方は、入館不可。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・発熱、咳、くしゃみ、風邪の症状、体調不良。

- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法  
連絡先聴取：  
・学内関係者：I Dの読み取りにより、入退場を管理。  
・学外来館者：事前予約により、入場者を把握（予定外来館者は入館票を記入。）。
- 感染者発生時の対応：  
・美術館W e b ページ、大学W e b ページで感染者発生のお知らせ。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間  
・大学内に保健医が4名シフト制で常駐しているが、美術館・図書館独自には、看護師の常駐なし。
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム  
・オンラインイベントの開催あり。
- (ス) ミュージアムショップ、E Cサイトの導入  
・メールでの通販あり（料金は、銀行振込）。
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
（マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等）  
・スタッフは、手洗い、検温、マスクの徹底。フェイスシールドの着用もあり。
- (ソ) 協賛の状況について  
・回答なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策  
・オープンがコロナ禍ではないため実施なし。行われる催事がオープニングイベントの場合は施設のガイドラインに従う。
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施  
・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無  
・「ご来館の皆さまへのお願い」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準  
・政府や東京都の要請に従って、延期・再開の判断をした。

## ○大阪城天守閣

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・大阪城天守閣のチケットは、現地購入とWeb購入。
  - ・チケットのキャンセル、変更、払い戻しはなし。
  - ・臨時休館中に有効期限を迎える前売券等については、有効期限延長の対応。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・チケットの種類  
大人、中学生以下は、入場無料。
  - ・チケットの種類別の売上枚数は、公開なし。
  - ・チケットへの記載事項  
「大阪市交通局割引」の記載あり。
- (ウ) 入場方法
  - ・混雑を緩和するため、入場制限を行う場合がある。
- (エ) 展示の案内
  - ・エレベーターの利用制限を実施。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・館内は、天守閣入口、トイレ等にアルコール消毒液を設置。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・館内のドアノブ・手すりの消毒。
  - ・空調設備による換気。
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・37.5度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
  - ・入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・37.5度以上の発熱や咳、くしゃみ、鼻水等風邪の症状がないか、体調はいいか等。
  - ・入国制限の対象となっている地域から日本への入国後、14日間経過している。
  - ・新型コロナウイルス感染症に感染している方及び感染者と接触があつてから、14日間経過している。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
  - ・感染症の発症があつた場合の連絡先として、「大阪コロナ追跡システム」への登録か、備え付けの専用用紙に連絡先を記入してもらう。

- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・「おうちでミュージアム」というバーチャル展示を開催中。
  - ・オンラインショップあり。  
<https://osakacastleonlineshop.com/>
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・大阪城オンラインショップあり。  
<https://osakacastleonlineshop.com/>
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・スタッフは手洗い、検温、マスク着用の徹底。
  - ・フェイスシールドの着用あり。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「ご協力をお願い／当館における予防対策」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・政府や府、市の要請に従って、延期・再開の判断をした。

## ○大阪市立東洋陶磁美術館

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・日付指定のチケットを導入。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・チケットの種類
    - 一般、高校生・大学生
    - 他に、年間パスポートあり。
  - ・チケットの種類別の売上枚数は、公開なし。
  - ・チケットへの記載事項
    - 「本券は展覧会開催中の当日に限り、1枚につき1名様有効です」
- (ウ) 入場方法
  - ・入館制限を実施。
- (エ) 展示の案内
  - ・館内では、展示ケース1台につきひとりを目安で観覧。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・なし
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・なし
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・入館時に検温。体温が37.5度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
  - ・入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。
  - ・マスク未着用の方は、入館不可。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・発熱
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
  - ・「大阪コロナ追跡システム」への登録か、記入シート「緊急連絡のための入館シート」にお名前と連絡先を記入してもらう。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・ミュージアムショップのオンラインショップあり。

- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - (マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・スタッフは手洗い、検温、マスク着用の徹底。
  - ・フェイスシールドの着用あり。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・回答なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）
  - ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「入館時や館内でのご協力をお願い」

イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・政府や府、市の要請に従って、延期・再開の判断をした。

## ○京都府立京都学・歴彩館

### ア 運営について

#### (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・ホール、展示室、学習室、資料閲覧室コーナーなどの施設があり、基本入場料はなし。ただし、ホールでの催事は、主催者によりチケットを取り扱う。会場での事前販売はしていない。
- ・京都学・歴彩館主催事業の支払いを伴わない予約は、電話とインターネットに対応している。

#### (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

- ・チケットの種類  
ホールでの催事は、主催者によりチケットの取扱いが異なる。
- ・チケットの種類別の売上枚数は、公開なし。
- ・チケット記載事項  
主催者により異なる。

#### (ウ) 入場方法

- ・展示室、閲覧室（図書フロア）では、入室時に氏名及び連絡先の記入、又は「こことろ」（京都府新型コロナウイルス緊急連絡サービス）への登録が必要。
- ・入場制限あり（展示室 30 人、閲覧室 60 人）。
- ・ホールは、主催者により連絡先を把握（事前又は当日）。

#### (エ) 展示の案内

- ・なし

#### (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・入館入口にアルコール消毒液を設置。

#### (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）

- ・なし

#### (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）

- ・出入口では、サーモグラフィーによる検温を実施。
- ・体温が 37.5° C 以上の方、体調の悪い方は、入館不可。
- ・入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。

#### (ク) マスク着用の義務付けの有無

- ・マスク着用の義務付け。
- ・マスク未着用の場合は、入館不可。

#### (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票

- ・発熱、咳、体調は悪くないか。

#### (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法

- ・来館者名簿への記入をしてもらう。

- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
    - ・なし
  - (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
    - ・なし
  - (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
    - ・なし
  - (セ) スタッフ、ボランティアの対策
    - (マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
    - ・スタッフは手洗い、検温、マスク着用の徹底。
    - ・フェイスシールドの着用あり。
  - (ソ) 協賛の状況について
    - ・なし
  - (タ) オープニングイベントにおける対策
    - ・なし
  - (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
    - ・回答なし
  - (ツ) その他（特記すべきこと）
    - ガイドライン・マニュアルの提供の有無
    - ・なし
- イ 開催判断について
- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
    - ・政府、府のガイダンスに従って、延期・再開の判断をした。

## ○名古屋港ポートビル・南極観測船ふじ

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・チケットぴあ、コンビニで事前に購入。
  - ・スマートフォンで事前に電子チケットを購入。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・チケットの種類
    - 大人、高校生、小・中学生、幼児（4歳以上）
  - ・団体割引
    - 20名様以上：大人260円、高校生240円、小中学生160円
    - 100名様以上：大人250円、高校生220円、小中学生150円
  - ・チケットの種類別の売上枚数は、公開なし。
  - ・チケットへの記載事項では、新型コロナウイルス感染症対策に特化した内容はなし。
- (ウ) 入場方法
  - ・混雑状況に応じて、入館制限を実施。
- (エ) 展示の案内
  - ・エレベーターの人数制限。階段の利用に協力いただく。
  - ・各施設の改札及び案内カウンターにビニールカーテンを設置。
  - ・ポートビルの望遠鏡の使用中止。
  - ・ふじライブラリーの使用を中止。
    - R3.6.22より、再開。ただし、人数制限を実施。
  - ・展示通路床面への間隔目安を設置。
    - R3.6.22より、操船シミュレーター再開。
    - ゴム手袋着用、ハンドル毎回消毒。
    - 学校団体児童は、教員立会いの下、一人ずつ参加。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・入口、エレベーターホール、店舗内にアルコール消毒液を設置。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・出入口を常時開放し、換気を行う。
    - 館内空調設備が換気基準を満たしているため、現在は、出入口の解放なし。
  - ・窓、扉、排煙窓等を一部開放し、換気。
  - ・扉の持ち手、エスカレーターや階段の手すり、テーブルや椅子等は、定期的に消毒。
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・入口に非接触体温計設置（ポートハウスを除く）。
  - ・37.5度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
  - ・入館拒否時にはチケットの払い戻しの補償あり。

- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。
  - ※ポートビル1階にて、不織布マスク販売（1枚80円）
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・咳や熱等の症状がないか、具合が悪くないか。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
  - ・館内で感染者が確認された場合は、施設公式Webページに情報を掲出。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・全員マスク着用を義務付け。
  - ・各ポジションにフェイスシールドを用意し、新型コロナウイルス感染症に感染の疑いがある来場者対応時に使用（ただし、これまで使用なし。）。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施を見送った。
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「ご来館のお客様へのお願い」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・政府、県、市の要請を受けて、休館等対応の判断をした。

## ○豊田市美術館

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・会期により異なるが、原則、窓口販売。
  - ・払い戻しはなし。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・チケットの種類（常設展）  
一般、高校・大学生、中学生以下  
他に、年間パスポートあり。
  - ・チケットの種類別の売上枚数は、公開なし。
  - ・チケットへの新型コロナウイルス感染症に関する記載事項はなし。企画展など、主催者が美術館と異なる場合については、主催者が主体となり、表記方法を検討。
- (ウ) 入場方法
  - ・展示室内の混雑状況によって、入場制限を行う場合あり。
- (エ) 展示の案内
  - ・チケットの購入や作品鑑賞の際には、2メートル前後の距離。
  - ・手袋、フェイスガード等を着用。
  - ・当面は、作品ガイドボランティアによるギャラリートツアーは、見合わせ。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・チケット販売やインフォメーション、ライブラリー、ミュージアムショップなどの前にアルコール消毒液を設置。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・当初は、定期的な消毒（トイレ、手すり、椅子、ロッカー等）を行ったが、抗菌塗布作業の実施後は、通常対応。
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・入館不可。返金等の対応はなし。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・来場者は、マスク着用の義務付け。
  - ・マスク未着用の方に対し、無償でマスクを配布。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・体調不良の様子が見受けられる際にお声がけして状況の確認。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
  - ・なし
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし

- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - (マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・スタッフはマスク着用、必要に応じて手袋、フェイスシールドを着用。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・ボランティアガイドツアーは、中止した。
- (ツ) その他（特記すべきこと）
  - ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「新型コロナウイルス感染症に関する対応について」

イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・市の要請に従って、延期・再開の判断をした。

## (2) 劇場

### ○ウエスタ川越

#### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・施設の予約手続きは、メール、FAX等非対面を推奨。
  - ・支払いは、キャッシュレス決済対応。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・なし（チケットの記載事項は、主催者により異なる。）
- (ウ) 入場方法
  - ・入場時のチケット確認（もぎり）の簡略化。
  - ・入場待機列の設置。
  - ・日時や座席の指定予約による人数の調整。
- (エ) 展示の案内
  - ・パンフレット、チラシ、アンケート等は、極力手渡しによる配布は避ける。
  - ・総合案内に飛沫防止用パーテーションを設置。施設を利用する主催者には飛沫防止用パーテーションの貸し出し。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・入口、1階総合案内にアルコール消毒液を設置。
  - ・会場の出入口付近（8階～10階エレベーター付近のアトリウム）及びホール内ロビー等に手指用のアルコール消毒液を設置。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・トイレ、共有部分、備品等手に触れるところは、定期的に消毒を実施。
  - ・循環換気システムにより、定期的に換気。大ホールと小ホールは1時間あたり平均5回、多目的ホールは1時間あたり平均8回、会議室や研修室等は1時間あたり平均6回。
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・大ホール、リハーサル室（小ホール）、多目的ホール入口にサーマルカメラ設置で検温。
  - ・会議室や研修室等の利用される際には、非接触体温計の貸し出し。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。

- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・検温し、平熱と比べて高い発熱がある、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状のある方。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
  - ・チケットシステム等の活用により、来場者の氏名及び緊急連絡先を把握。
  - ・来場者から感染者が発生した場合等、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策（マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等）
  - ・日々の検温、マスク着用、手洗い、手指の消毒の徹底。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし。
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「新型コロナウイルス感染防止への取り組み」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・催事の催行判断は、主催者による。
  - ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

## ○日暮里サニーホール

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・【貸館】 チケット販売等は、主催者側で対応をする。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・なし（チケットへの記載事項は、主催者により異なる。）
- (ウ) 入場方法
  - ・【貸館】 入場方法は、主催者側で手配を行う。
- (エ) 展示の案内
  - ・利用者間、来場者間の十分な間隔を確保してもらう。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・出演者、スタッフ、来場者に対する感染防止対策に必要な備品、消耗品（手指消毒液、除菌剤、検温器等）は主催者で用意してもらう。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・トイレ、共有部分、備品等手に触れるところは、定期的に消毒を実施。
  - ・循環換気システムにより、定期的に換気。
- (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・入館来場される時は、自身で検温してもらう。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・発熱、咳等の症状、体調不良の場合は、利用、来館不可。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
  - ・主催者は、主催事業の来場者の氏名、連絡先を把握し、名簿を作成。追跡を可能とするため、概ね2週間程度、保管してもらう。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・なし

- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - (マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・スタッフは、毎日検温、健康状態を確認、マスク着用、手洗い、手指消毒、うがいを徹底。一部、フェイスシールド、手袋を着用。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし。
- (ツ) その他（特記すべきこと）
  - ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・利用制限等は、東京都荒川区からの方針に準じている。
  - 独自で参考に行っているガイドラインはなし。
  - ・「新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設の一部使用制限について」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・催事の催行判断は、主催者による。
  - ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

## ○ムーブ町屋

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・【貸館】 チケット販売等は、主催者側で対応をする。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・なし（チケットへの記載事項は、主催者により異なる。）
- (ウ) 入場方法
  - ・【貸館】 入場方法は、主催者側で手配を行う。
- (エ) 展示の案内
  - ・利用者間、来場者間の十分な間隔を確保してもらう。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・出演者、スタッフ、来場者に対する感染防止対策に必要な備品、消耗品（手指消毒液、除菌剤、検温器等）は主催者で用意してもらう。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・トイレ、共有部分、備品等手に触れるところは定期的に消毒を実施。
  - ・循環換気システムにより、定期的に換気。
- (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・施設へ入館、来場される時は、自身で検温してもらう。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・発熱、咳等の症状、体調不良の場合は利用、来館不可。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
  - ・主催者は、主催事業の来場者の氏名、連絡先を把握し、名簿を作成。追跡を可能とするため、概ね2週間程度保管してもらう。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・なし

- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - (マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・スタッフは、毎日検温、健康状態を確認、マスク着用、手洗い、手指消毒、うがいを徹底。一部、フェイスシールド、手袋を着用。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）
  - ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・利用制限等は、東京都荒川区からの方針に準じている。
  - ・独自で参考にしているガイドラインは、なし。
  - ・「新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う一部使用制限について」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・催事の催行判断は、主催者による。
  - ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

## ○川崎市民プラザ

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・【貸館】 チケット販売等は、主催者側で対応をする。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・なし（チケットへの記載事項は、主催者により異なる。）
- (ウ) 入場方法
  - ・【貸館】 入場の対応は、主催者側で行う。
- (エ) 展示の案内
  - ・来場者と接するスタッフは、マスクを着用。一部スタッフは、フェイスシールドや手袋を着用して案内・対応。
  - ・会場、通路、トイレ等では、周囲の方との距離を1 m以上（できれば2 m）空けてもらう。
  - ・出演者への花束、プレゼント等を直接お渡しすること、持込みの禁止。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・館内各所に手指消毒用アルコール消毒液を設置。
  - ・アルコール消毒液を貸し出し、備品使用後には、主催者に対して消毒の実施を案内。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・開場中、開演中、休憩中も、扉を開放する等、館内の換気を強化。
  - ・ドアノブ、トイレ、自動販売機や券売機、ロッカー等の消毒を実施。
  - ・開場中、開演中、休憩中も扉を開放。
- (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・入場時に検温。
  - ・37.5 度以上の発熱や体調不良の方は、入館不可。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。
  - ・マスク未着用の方に対し、有償でマスクを配布（1 枚 30 円）。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・37.5 度以上の発熱がある、風邪、咳、呼吸困難、倦怠感、咽頭痛、味覚障害等、軽度の体調不良のある方。同居人、身近で症状のある方はないか。

- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
- ・来館者には、「感染予防に関する利用者カード」を記入してもらおう。
  - ・グループの方は、利用者全員の連絡先の把握してもらおう。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
- ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
- ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
- ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
- ・スタッフは、毎日検温、健康状態を確認、マスク、手洗い、手指消毒、うがいを徹底。一部、フェイスシールド、手袋を着用。
- (ソ) 協賛の状況について
- ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
- ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
- ・実施なし。
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
- ・公益社団法人全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大ガイドライン」
  - ・一般社団法人日本クラシック音楽事業協会「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」  
「感染症対策にご協力ください」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
- ・催事の催行判断は、主催者による。
  - ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

## ○びわ湖ホール

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
- ・びわ湖ホールチケットセンター窓口、電話予約、ネット・チケット、チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、楽天チケットで購入可能。
  - ・申し込んだチケットの変更、キャンセル、再発行は不可。ただし、新型コロナウイルス感染症への感染の有無に関わらず、コロナ禍を理由での払い戻しは原則可能。
  - ・公演中止、延期の場合の交通費、宿泊費及び本券購入時の発送手数料等の補償は、なし。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
- ・なし（チケットへの記載事項は、主催者により異なる。）
- (ウ) 入場方法
- ・パンフレット、チラシ、アンケート等は、極力手渡しによる配布は避ける。
- (エ) 展示の案内
- ・展示施設は、なし。
  - ・館内は、ソーシャルディスタンス確保のため、案内表示やサイン等により、注意喚起。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
- ・館内の各出入口を始め、各ホール内各所に設置。
  - ・公演開催日は、入口にスタッフを配置し、検温・消毒の声がけ。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
- ・館内の各出入口を始め、各ホール内各所に設置。
  - ・公演開催日は、入口にスタッフを配置し、検温・消毒の声がけ。
- (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
- ・館内・各ホール入場時にサーモグラフィーにて検温。37.5 度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
- ・マスク着用を義務付け（口及び鼻を完全に覆うことができない形状のものは不可。）。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
- ・37.5 度以上の発熱、咳・咽頭の痛み。
  - ・新型コロナウイルス感染症の陽性とされた方との濃厚接触。
  - ・過去 2 週間以内に、政府からの入国制限、入国後の観察期間がないか。

- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
  - ・当日券購入の際は、チケット販売連絡票に氏名、連絡先の記入してもらう。
  - ・感染症を発症された方が確認された場合は、保健所等の公的機関に求められた場合に限り、チケット購入者の名簿を提出。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・公演により、オンライン配信あり  
（劇場専属の「びわ湖ホール声楽アンサンブル」によるロビーコンサートの無料配信）。
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・ユーザー登録をするとインターネットでグッズの購入可能。
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - （マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等）
  - ・スタッフはマスク着用、手袋やフェイスシールドを着用。
  - ・新型コロナパーソナルサポート「もしサポ滋賀」を活用してもらう。
  - ・総合案内は、ビニールシートを設置し、足元には目印を設置。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし。
- (ツ) その他（特記すべきこと）
  - ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」
  - ・「劇場、音楽堂等における新型コロナ感染拡大予防ガイドライン」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・催事の催行判断は、主催者による。
  - ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

## ○ロームシアター京都

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
- ・オンラインチケットやキャッシュレス決済を推奨。  
カウンター窓口、電話、インターネット予約で購入可能。
  - ・公演に来場予定日の前14日間に新型コロナウイルス感染症に感染した、濃厚接触者と判定された、近親者に感染者がいた場合は、チケットの払い戻し可能。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
- ・なし（チケットへの記載事項は、主催者により異なる。）
- (ウ) 入場方法
- ・パンフレット、チラシ、アンケート等は、極力手渡しによる配布は避ける。
- (エ) 展示の案内
- ・展示室（ミュージックサロン）は、現在、無人対応のポスター展示のみ。
  - ・館内では、新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起文書を場内に掲示。
  - ・ホール客席案内等において、会話抑制のためのサインを設置。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
- ・施設入口付近にアルコール消毒液を設置。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
- ・階段の手すり、客席の肘掛け等を消毒。
  - ・客席内及びロビーは、空調システムで常時、換気。
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
- ・サーモグラフィー、非接触体温計の準備。
  - ・入場時に検温を実施、37.5度以上の発熱が確認された場合は入場不可。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
- ・利用者は、マスク着用を義務付け。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
- ・咳、発熱、のどの痛み、体調不良はないか。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
- ・各公演主催者が把握。発信に関しても、主催者が対応。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
- ・なし

- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・公演により、オンライン配信あり（有料、1回500円～3,000円程度）
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - （マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等）
  - ・ホール内の案内スタッフ、店舗スタッフ、レセプション、チケットカウンタースタッフは、マスク着用を義務付け。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし。
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためお願い」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・催事の催行判断は、主催者による。
  - ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

## ○京都府立文化芸術会館

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
- ・会館主催公演は、会館事務所での販売、代引きでの販売。
  - ・公演により、主催者にてオンライン対応あり(例：チケットぴあ等)。
  - ・公演での個別の払い戻し可否は、主催者にて判断。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
- ・なし(チケットへの記載事項は、主催者により異なる。)
- (ウ) 入場方法
- ・整列時や入退館時の対人距離(最低1m以上)の確保。
  - ・チケット確認(もぎり)の簡略化(スタッフ立ち合いのもと、来場者自身でもぎってもらい、専用回収箱に入れてもらう。)
  - ・パンフレット、チラシ、アンケート等は、極力手渡しによる配布は避ける。
- (エ) 展示の案内
- ・貸展示室では、人との接触をできるだけ避け、対人距離を確保(最低1m)。鑑賞者は、マスク着用の上、会話を控えるよう求める。必要に応じて、入場制限を実施。
  - ・館内は、注意喚起のため、案内表示やサイン掲示。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
- ・会館の出入口及び館内各所に手指消毒のためのアルコール消毒液を設置。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無(頻度、方法)
- ・施設内共用部分(ドアノブや手すり等)の定期的な消毒を実施。
  - ・空調による換気を実施。公演の前後や休憩時には、換気を強化。
  - ・ホールの空調にウイルス除去機能を付加・客席内及びロビーは、空調システムで常時、換気。
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応(入場拒否時の補償)
- ・ホール入口でサーモグラフィーによる体温確認を実施。
  - ・37.5度以上の発熱が確認された場合は、入場不可。
  - ・貸会議室利用者(主催者)には、検温器具を貸出。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
- ・利用者は、マスク着进行義務付け。

- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐。
  - ・PCR検査で陽性とされた方との濃厚接触がある場合。
  - ・過去2週間以内に、感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
  - ・万が一、感染が発生した場合に備え、各催事の主催者により、入場者の連絡先を把握。
  - ・感染疑いが発生した場合、公演主催者は、速やかに施設管理者に連絡し、対応を協議。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・催事主催者により、実施する場合がある。
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・会館職員は、手洗い、手指消毒、マスク着用を徹底。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「新型コロナ感染拡大予防ガイドライン」
  - ・「(主催者向け) 京都府立文化芸術会館での感染予防措置」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・催事の催行判断は、主催者による。
  - ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

## ○京都府立府民ホールA L T I

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・会館主催公演は、会館事務所での販売、代引きでの販売。
  - ・公演により、主催者にてオンライン対応あり(例：チケットぴあ等)
  - ・公演での個別の払い戻し可否は、主催者にて判断。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・なし(チケットへの記載事項は、主催者により異なる。)
- (ウ) 入場方法
  - ・対人距離(最低1m以上)の確保。
  - ・チケット確認(もぎり)の簡略化。
  - ・座席指定予約による人数調整。
- (エ) 展示の案内
  - ・展示施設は、なし。
  - ・館内は、注意喚起のため案内表示やサインを掲示。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・会館の出入口及び館内各所に、手指消毒のためのアルコール消毒液を設置。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無(頻度、方法)
  - ・施設内共用部分(ドアノブや手すり等)の定期的な消毒を実施。
  - ・空調による換気を実施。公演の前後や休憩時には換気を強化。
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応(入場拒否時の補償)
  - ・ホール入口でサーモグラフィーによる体温確認を実施。
  - ・37.5度以上の発熱が確認された場合は、入場不可。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・常時、マスク着用を義務付け。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐、PCR検査で陽性とされた方との濃厚接触がある場合。
  - ・過去2週間以内に、感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合。

- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報の収集方法、連絡体制や方法
  - ・万が一、感染が発生した場合に備え、各催事の主催者により、入場者の連絡先を把握。
  - ・感染疑いが発生した場合、公演主催者は、速やかに施設管理者に連絡し、対応を協議。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・催事主催者により、実施する場合がある。
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・会館職員は、手洗い、手指消毒、マスク着用を徹底。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
  - ・「京都府立府民ホールアルティでの感染予防措置」
  - ・「(主催者向け) 京都府立府民ホールアルティでの感染予防措置」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・催事の催行判断は、主催者による。
  - ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

## ○穂の国とよはし芸術劇場

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・インターネット（パソコン、スマートフォン）で予約。
  - ・体調不良等の感染予防のために観劇を控えたい場合は、チケット代金の払い戻しを実施。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・なし（チケットへの記載事項は、主催者により異なる。）
- (ウ) 入場方法
  - ・公演チケットは、受付スタッフが目視で確認、来場者自身で半券をお切りいただく。
  - ・チラシ、プログラム等の手渡しによる配布は、行わない。所定の場所に設置し、フリーとする。
  - ・大声での発声等を伴わない利用は、定員の100%以内で、大声での発声等を伴う利用は、定員の50%以内。
- (エ) 展示の案内
  - ・館内各出入口に、注意喚起を促す掲示板を設置。
  - ・十分な間隔（最低1m）を確保するため、テーブル、イス、ソファ等、一部の備品を一時的に撤去。
  - ・案内表示やサインの設置。
  - ・窓口や受付等には、飛沫感染防止用品等を設置。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・館内で入口、貸し施設出入口にアルコール消毒液を設置。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・館内清掃、消毒、換気の徹底。
- (キ) 検温の場所、37.5度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・入場時にサーマルカメラで体温を検測し、37.5度以上の発熱が確認された場合は、入場不可（チケットは払い戻しをする。）。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。マスク未着用の方は、客席等への入場不可。
  - ・マスク未着用の方に対し、劇場1階事務所受付にて、有償でマスクを配布（1枚50円）。

- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
- ・37.5 度以上の発熱、極端な咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、味覚・嗅覚障害、下痢、嘔気・嘔吐等の症状がある方、その他、体調に不安がないか。
  - ・過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染症の陽性と判定された方との濃厚接触がないか。
  - ・過去2週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がないか。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
- ・施設の入館時に、「豊橋市新型コロナ通知システム」より、メールアドレスを登録してもらう。
  - ・感染症の感染発生が疑われる場合は、公演チケット購入時の連絡先、保健所等の公的機関へ提供する。
  - ・従事者の緊急連絡先や勤務状況を把握し、感染が疑われる場合は、南部保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
- ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
- ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
- ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
- ・スタッフは毎日、検温を実施し、健康状態を確認。手洗い、手指消毒を徹底。
  - ・スタッフはマスク着用、手袋、フェイスシールドを着用。
- (ソ) 協賛の状況について
- ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
- ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
- ・実施なし
- (ツ) その他（特記すべきこと）  
ガイドライン・マニュアルの提供の有無
- ・「新型コロナウイルス感染拡大予防に関するご案内」
  - ・「新型コロナウイルス感染拡大予防対策のお願い」

イ 開催判断について

(ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準

- ・関連するガイドライン、豊橋市等関係諸機関から最新情報の収集をするとともに、細心の注意を払い、感染症対策を実施。

## ○豊田市コンサートホール・能楽堂

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・クラシック音楽、能楽等、大声での歓声や声援がない催しは定員の 100%、大声での歓声や声援のある催しは定員の 50%に制限。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・なし（チケットへの記載事項は、主催者により異なる。）
- (ウ) 入場方法
  - ・入場時のチケット確認（もぎり）の簡略化（来場者が自らもぎって箱に入れ、主催者は目視で確認。）。
  - ・パンフレット、チラシ、アンケート等は、極力手渡しによる配布は避ける。
- (エ) 展示の案内
  - ・経路分散のためのエスカレーター及び階段を使用した来場。
  - ・エレベーターの 4 名定員の厳守。
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・手指消毒液の設置（10 階アーティストロビー、8 階アトリウム）。
  - ・ナッジ（来場者が自発的に行動するよう促すことにつながる注意書きのようなもの）の表示（8 階アトリウム）。
  - ・Web ページに消毒箇所リスト（エクセルデータ）を掲載。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・定期的な清掃とアルコール消毒の実施。
- (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・非接触型温度計及び大型モニター付きサーモグラフィーを配備。主催者に貸し出しあり。
  - ・入口で 37.5 度以上の発熱が確認された場合は、入館不可。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・原則、常時、マスク着用を義務付け。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・「新型コロナウイルス感染防止策チェック表」で確認。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
  - ・感染者が確認された際の対応として、「来場者連絡先登録フォーム」にて、氏名、席番、連絡先を記入いただく場合がある。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし

- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策
  - (マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・スタッフはマスク着用に加え、フェイスシールド着用で案内。
- (ソ) 協賛の状況について
  - ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
  - ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
  - ・実施なし
- (ツ) その他 (特記すべきこと)
  - ガイドライン・マニュアルの提供の有無
    - ・「新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル」
    - ・「新型コロナウイルス感染症対策」
    - ・「来場者連絡先登録フォーム」
    - ・「来場者確認票」
    - ・「感染防止策チェック表」
    - ・「関係者検温・体調管理表」
    - ・「消毒箇所リスト」
    - ・「コロナ対策レイアウト図 (貸館)」
    - ・「制限目安値 50%」
    - ・「発熱の症状がある方の受診・相談について」

#### イ 開催判断について

- (ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準
  - ・催事の催行判断は、主催者による。
  - ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

## ○刈谷市総合文化センター

### ア 運営について

- (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況
  - ・感染拡大防止のため、定員の 50%以下の人数に定員制限をして販売。
- (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項
  - ・なし（チケットへの記載事項は、主催者により異なる。）
- (ウ) 入場方法
  - ・収容率は、定員の 50%以下の人数で利用。
- (エ) 展示の案内
  - ・なし
- (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所
  - ・正面玄関と各階エレベーター横に、手指消毒用のアルコール消毒液を設置。
  - ・ホール等の貸室内では、主催者が持ち込み。
- (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）
  - ・利用者は、各所室においてドアノブ及び備品の消毒をする。
  - ・利用する部屋の換気。
- (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）
  - ・ホールは、主催者が非接触体温計を持ち込み、入口で検温。
  - ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。
- (ク) マスク着用の義務付けの有無
  - ・マスク着用を義務付け。
- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票
  - ・発熱、咳、くしゃみ、咽頭痛、頭痛等の体調不良がないか。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
  - ・なし
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
  - ・なし
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
  - ・なし
- (ス) ミュージアムショップ、ECサイトの導入
  - ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
  - ・スタッフは手洗い、検温、マスク着用の徹底。フェイスシールドの着用あり。

(ソ) 協賛の状況について

- ・なし

(タ) オープニングイベントにおける対策

- ・なし

(チ) ボランティア等のガイドツアーの実施

- ・文化工房かりやにて、市民ボランティアが活動中。  
感染症対策については、ア（ツ）をもとに対応している。

(ツ) その他（特記すべきこと）

ガイドライン・マニュアルの提供の有無

- ・「施設利用における新型コロナウイルス感染拡大予防対策」
- ・「令和3年6月21日まん延防止等重点措置に伴う利用制限（アイリス）」

イ 開催判断について

(ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準

- ・催事の催行判断は、主催者による。
- ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

## ○国立劇場おきなわ

### ア 運営について

#### (ア) チケット販売方法、払い戻し規定、収入の状況

- ・国立劇場おきなわチケットカウンター、プレイガイド（公演内容により異なる。）。
- ・現金の取扱いをできるだけ減らすため、オンラインチケットの販売を推奨。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となった公演は、チケット料金の払い戻しが可能。寄附として申し受けることも可能な旨を併せて案内。

#### (イ) チケットの種類別の売上枚数、チケットへの記載事項

- ・なし（チケットへの記載事項は、主催者により異なる。）

#### (ウ) 入場方法

- ・入場時のチケット確認（もぎり）の簡略化。
- ・観客数を制限。収容率 50%以内。劇場入口の行列では、最低 1 m（できるだけ 2 mを目安に）の間隔を空けた整列を促す。

#### (エ) 展示の案内

- ・場内における会話制限を実施。
- ・公演前後及び休憩中に、人が滞留しないよう、会場入り等の工夫をする。
- ・企画展示室等は、密にならないよう、張り紙等で注意喚起を促す。

#### (オ) 消毒液の設置の有無、設置場所

- ・会場の入口に、手指消毒用のアルコール消毒液を設置。

#### (カ) 館内の清掃、換気、消毒の有無（頻度、方法）

- ・不特定多数の方が接触する場所は、清掃、消毒をこまめに行う。
- ・洗面所は、ペーパータオルを設置。
- ・各回の公演ごとの公演前に、会場内のドアノブや手すり等、不特定多数の方が触れやすい場所の消毒。

#### (キ) 検温の場所、37.5 度以上の方の対応（入場拒否時の補償）

- ・入場前に検温し、37.5 度以上の発熱が確認された場合は入場不可。
- ・入館拒否時の補償の有無は、主催者の判断で決定する。

#### (ク) マスク着用の義務付けの有無

- ・マスク着用を義務付け。

- (ケ) 当日の健康状態の確認方法及び確認項目、問診票  
来場前に次の項目の有無を確認いただく。
- ・検温を行い、37.5 度以上又は平熱より 1 度高いか否か。
  - ・咽頭痛を伴った咳などの症状の有無。
  - ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触の有無。
  - ・過去 2 週間以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触の有無。
- (コ) 感染者発生時の緊急連絡先の聴取の有無、個人情報収集方法、連絡体制や方法
- ・チケットシステムにより、公演ごとに来場者の氏名及び緊急連絡先を把握する。
  - ・名簿を作成・保存。感染が疑われる方が発生した場合、南部保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供する。
  - ・公演における感染予防対策及び感染が疑われる方が発生した場合に、速やかに連携が図れるよう、南部保健所等との連絡体制を整える。
- (サ) 看護師の派遣（常駐）の有無、人数、派遣期間
- ・公演がある日のみ、開演 15 分前から終演時間まで 1 名常駐。
- (シ) オンライン観覧の有無、代替プログラム
- ・オンライン鑑賞は、一部公演（無料公演の一部）につき、無料配信で実施。
- (ス) ミュージアムショップ、EC サイトの導入
- ・なし
- (セ) スタッフ、ボランティアの対策  
(マスク、フェイスシールド、ポータブル消毒液の支給等)
- ・スタッフは手洗い、手指消毒、検温、マスク着用の徹底。フェイスシールドの着用。
  - ・自宅にて検温を行い、37.5 度以上または平熱より 1 度以上高い場合は、自宅待機。
- (ソ) 協賛の状況について
- ・なし
- (タ) オープニングイベントにおける対策
- ・なし
- (チ) ボランティア等のガイドツアーの実施
- ・実施なし

(ツ) その他 (特記すべきこと)

ガイドライン・マニュアルの提供の有無

- ・「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」

イ 開催判断について

(ア) 延期、中止の判断のタイミング・基準

- ・催事の催行判断は、主催者による。
- ・施設としては、ガイドラインをもとに主催者に案内。

### 3章 国際芸術祭「あいち 2022」に向けた新型コロナウイルス感染症対策案

#### 1 共通事項

- ・次に挙げる業務の実施にあたっては、愛知県新型コロナウイルス感染拡大予防対策指針の他、公益財団法人日本博物館協会が発行する「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」並びに、公益社団法人全国公立文化施設協会が発行する「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン改定版」、使用施設のガイドライン等を参考に対策を実施すること。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、日本博物館協会、全国公立文化施設協会や会場自治体、使用する会場等が作成したガイドラインを参考に、会期中の新型コロナウイルス感染症の感染対策（罹患者が発生した場合等）に係る各種ガイドラインを策定すること。これらのガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況や、国等の対処方針の変更等により、適宜変更を行うこと。
- ・スタッフの健康管理を徹底すること（搬入業者等全ての関係者の検温及び健康状態の確認を行うこと。）。

#### 2 現代美術展等の会場運営業務

##### (1) 受付業務

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・マスク着用不可の方は、識別シールなどを渡し「見える化」する。
- ・受付等の対面箇所では、飛沫感染防止用アクリルパネルを設置する。
- ・チケット確認では、手袋を着用し、必要に応じてフェイスシールド等を着用する。
- ・来場者に対し、次の周知を行う。
  - 「マスク着用」「手指消毒」「大声を出さない」
  - 「展示室内では譲り合っていただく」
  - 「作品、展示ケース、壁等のお手触れの禁止」

##### (2) 作品看視業務

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・各会場入口では、検温と手指消毒を徹底する。
- ・体験エリアでは、フロアマーカを設置し、来場者同士の間隔を確保する。
- ・展示室ごとに入場規制を行う（定員を予め決めておく）。

- ・手を触れる展示物や場所については、こまめな消毒を行う。

### **(3) 案内業務**

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・対面箇所では、飛沫感染防止用アクリルパネルを設置し、必要に応じてフェイスシールド等を着用する。
- ・フロアマーカ―を設置し、来場者同士の間隔を確保する。
- ・パンフレット、アンケート等の電子化を検討する。
- ・鉛筆による記載が必要な場合は、使い捨て鉛筆を使用する。
- ・手を触れる物や場所については、こまめな消毒を行う。
- ・来場者の整理誘導時には、「来場者同士の間隔の確保」、「大声を出さない」を案内ボードやトラメガを活用して周知する。

### **(4) 設備管理業務**

- ・まちなか会場におけるの施設設備、スイッチ等の消毒を行う。

### **(5) 救急看護業務**

- ・各会場入口における検温で 37.5 度以上の場合は、再度、検温を行うとともに平熱を伺う。再検温の結果、37.5 度以上の発熱が確認された場合は、希望に応じて、チケットの払い戻しを行う旨の説明をした上で、帰宅していただく。
- ・感染症対策のための看護師（常駐）を配置する。
- ・鑑賞中に感染が疑われる症状を発症した体調不良者が発生した場合は、看護者の感染症対策を万全に実施した上で、救護所へ速やかに案内する。

### **(6) ラーニングプログラム等の来場者管理運営業務**

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・体験型プログラムを実施する場合は、来場者が直接手に触れる物品等を使用後に消毒する。
- ・必要に応じて、入場制限を行い、密を避ける。場合によっては、事前予約制を検討し、来場者を分散させる。
- ・プログラムのオンライン展開の活用も検討する。

### **(7) パフォーミングアーツの来場者管理運営業務**

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・各会場入口では、検温と手指消毒を徹底する。
- ・入場者数制限の実施を検討する。
- ・開場待ちの際は、フロアマーカ―を設置し、来場者同士の間隔を確

保する。

- ・チケット確認では、手袋を着用し、必要に応じてフェイスシールド等を着用する。対面販売を行う場合は、飛沫感染防止用アクリルパネルや透明ビニールカーテン等の設置を検討する。
- ・開場から開演までの時間を長めに設定し、入場を時間差で行う等、密を避ける。
- ・退場時は、場合によっては、退場時間の制限を行い、密を避ける。
- ・手を触れる場所については、こまめな消毒を行う。

#### (8) その他

- ・会場入口にサーモグラフィ、又は、非接触体温計を設置し、37.5度以上の発熱が確認された場合は、入場不可とする。
- ・スタッフ等の制服は、定期的に洗濯をした清潔なものを着用するよう義務付ける。
- ・業務日誌の作成時においては、鉛筆等の筆記具を共有しない。
- ・混雑時は、時間帯指定の予約制を検討する。
- ・チケットを確認したのち、リストバンド等で体温確認済み及びチケットホルダーであることの確認ができるようにし、再検温やチケットテイクの時間を短縮することを検討する。
- ・感染者が確認された場合、ホームページなどを通じて、その旨を告知し、感染拡大の防止を図るよう検討する。
- ・滞留時間の制限による、誘導を行う。
- ・鑑賞用の備品の感染予防（ヘッドフォンやタブレット端末等）は、使い捨ての物を使用する。使い捨ての物を使用できない場合は、こまめな消毒を行う。
- ・団体の受け入れは、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、時間帯の分散や、受入規模を縮小するなど、密を避けて実施する。

### 3 まちなか会場の会場警備・清掃業務

#### (1) 警備業務

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・警備を行う者の制服は、定期的にクリーニングをした清潔なものを着用するよう義務付ける。

#### (2) 清掃業務

- ・マスク着用を義務付ける。

- ・清掃する者の制服は、定期的にクリーニングをした清潔なものを着用するよう義務付ける。
- ・日常清掃、ゴミ袋・アルコール消毒液の補充、手を触れる場所の拭き掃除を行う。
- ・濃厚接触者が出た場合は、ロッカー等の拭き掃除を徹底する。

#### 4 チケット販売・管理業務

- ・オンラインサイトからの購入を推奨し、Webチケットを推奨する。
- ・入場整理券や予約券の活用を検討する。
- ・チケットに、次のような「入館に際してのお願い」を記載する。
  - ① 37.5度以上の発熱がある場合は、入場をお断りさせていただきます。
  - ② マスクの着用をお願いいたします。
  - ③ チケットの再発行はできません。
  - ④ 密を避けるため、入場制限を実施することがございます。
- ・まちなか会場については、チケット販売と検温を確実かつ効率的に行うため、チケット販売と検温をセットとするセンター化を図り、全ての会場ではなく、数カ所で集中して対応することが望ましい。

#### 5 入場券管理センターの運営業務

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・飛沫感染防止用アクリルパネルを設置し、必要に応じてフェイスシールド等を着用する。

#### 6 電子チケットの導入業務

- ・紙チケットの種類別の整理券へ引き換えは、実施しない。チケットテイク後は、リストバンドや全チケット共通の整理券により、識別（チケットホルダーかどうかの確認等）することを検討する。

#### 7 オフィシャルグッズ制作及び公式ショップ運営業務

- ・各会場でのグッズ等の販売は、マスク、手袋を着用する。対面箇所では、飛沫感染防止用アクリルパネルを設置し、必要に応じてフェイスシールド等を着用する。
- ・ショップ入口では、手指消毒を徹底する。
- ・電子マネーを活用する等、キャッシュレス決済を検討する。

- ・ECサイトの検討をする。

## 8 ボランティア管理業務

### (1) 配置数

- ・ボランティアの配置数は、スタッフ同士の間隔を確保できる配置を前提とし、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら決定する。

### (2) 出勤管理業務

- ・ボランティア活動時には、健康チェック票の提出、マスク着用の義務付け、配置場所によっては必要に応じてフェイスシールド等を着用する。
- ・ボランティアの活動ファイル等の共有を避ける。
- ・控室内のスタッフ同士の間隔を確保し、定期的に換気を行う。
- ・必要に応じて、ポータブルアルコール消毒液を携帯するよう周知する。
- ・制服は、洗濯をした清潔なものを着用するよう義務付ける。
- ・ガイドツアーの案内人数を最小限に設定する。
- ・対話型鑑賞の際は、マスクに加え、必要に応じてフェイスシールド等を着用する。

### (3) 募集・研修等の実施

- ・ボランティアを対象とするWebサイトを活用し、ボランティア登録を行う。
- ・ボランティア研修については、オンラインを活用する。

## 9 その他業務に関連、付随する業務

### (1) 内覧会に関する業務

- ・受付業務、作品看視業務、案内業務と同様。

### (2) オープングレセプションに関する業務

- ・受付時には、検温及び手指消毒を徹底する。
- ・来場者数の制限もしくは、会場を広くし、密を避ける。
- ・開場時間の設定を早くし、来場者の受付時間を分散させる。
- ・飲食の提供は、極力避け、やむを得ず提供する場合は、個別包装やカップフードの料理を提供する。
- ・飲食中の会話は、原則禁止とし、飲食時以外はマスクを着用する。

- ・完全申込制とすることで、会場内の人数を把握する。
- ・会場内のスペースに余裕があれば、当日の受入れも可とする。

### (3) 障害者に対する作品鑑賞補助業務

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・バリアフリー非対応施設において、貸出しタブレット等による作品鑑賞補助を行う際は、使用後のタブレット等の消毒を徹底する。

### (4) 開催効果調査分析業務

- ・QRコード読み取り式のアンケート用紙等、来場者が個々に保持する端末より回答ができる設計とする。
- ・アンケート等記載用の鉛筆は、使用後の消毒を徹底する。
- ・貸出しタブレット等での調査を実施する際は、使用後のタブレットの消毒を徹底する。

### (5) 特別協賛者の対応に関する業務

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・受付時には、検温及び手指消毒を徹底する。
- ・お互いの間隔を確保し、対面箇所では、飛沫感染防止用アクリルパネルを設置し、必要に応じてフェイスシールド等を着用する。
- ・手を触れる場所については、こまめな消毒を行う。
- ・飲食の提供は、極力避け、やむを得ず提供する場合は、個別包装やカップフードの料理を提供する。
- ・飲食中の会話は、原則禁止とし、飲食時以外はマスクを着用する。

### (6) 記者等向けバスツアー及び記者会見に関する業務

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・受付時には、検温及び手指消毒を徹底する。
- ・バスの収容人数については、JATA（日本旅行業協会）のガイドラインを確認の上、決定する。
- ・ツアーのガイドは、マイクを使い回さない。
- ・パナガイド等は、使用後にマイクの消毒を徹底する。

### (7) プレスセンターの運営業務

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・入口では、検温及び手指消毒を徹底する。
- ・受付には、各プレス代表の方のみお越しいただくよう周知する。
- ・センター内の来場者同士の間隔を確保する。
- ・対面となる席を作らない。

- ・混雑する場合は、入場制限を行う。
- ・室内の常時又は定期的な換気を行う。

**(8) 記録写真撮影業務**

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・業務前に検温を行う。
- ・手指消毒を徹底する。
- ・お互いの間隔を十分に確保する。

**(9) コールセンターの運營業務**

- ・マスク着用を義務付ける。
- ・スタッフが手を触れる場所・物品は、こまめに消毒を行う。
- ・コールセンター内のスペースを確保し、常時もしくは定期的に換気を行う。
- ・対面箇所では、飛沫感染防止用アクリルパネルを設置し、必要に応じてフェイスシールド等を着用する。

**(10) その他（オンラインコンテンツへの切替等）**

- ・オンライン鑑賞を検討する。
- ・オンラインのプログラムを検討する。
- ・会話制御に伴う各案内のサインを拡充する。
- ・暑さの対策を実施する。猛暑の中、来場者が感染症対策を実施した上で、快適に鑑賞できる工夫を行う（会場のスペースや使用施設に応じた対応）。
- ・スタッフ、ボランティア各々が打合せを行う際は、控室でのお互いの間隔を確保し、密を避ける。

## 4章 収支計画及びチケット制度等の運営体制案

新型コロナウイルス感染症対策事例調査をしたところ、主催者が民間企業等の場合は収支の開示がされていないことから、収支の開示があり、かつ、国際芸術祭「あいち 2022」と同様、期間限定の都市型国際芸術祭である「ヨコハマトリエンナーレ 2020」のみとの比較を実施した。

## 1 収支

## (1) ヨコハマトリエンナーレ 2020 の事例

総来場者数、収入、支出の状況は、以下のとおり。

項目	2017年	2020年	比率
総来場者数	259,032人	153,528人	59%
収入			
・入場券収入	177,835千円	122,703千円	69%
・協賛金及び助成金 (※1)	45,798千円	46,447千円	101%
・公的負担金 横浜市	351,500千円	396,097千円	113%
支出			
・合計(※2)	745,116千円	745,632千円	100%

※1 協賛金及び助成金収入について、2019年11月からプレススタートしており、国内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（～2020年2月）に広告・協賛金にかかる営業活動を実施していたことから、新型コロナウイルスによる影響がなかったように見受けられる。

※2 支出合計のうち、科目別の変動はあり、「業務委託費」、「会場運営経費」、「入場券経費」が増加したことに伴い、「市民協同関連費」、「関連行事費」、「広報費」、「ボランティア経費」が削減した。

## (2) 国際芸術祭「あいち 2022」の予測

### ア 収入

新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び「あいちトリエンナーレ 2019」における一連の騒動等の影響により、減少することが想定される。

さらに、新型コロナウイルス感染症の感染状況にもよるが、対策を講ずる場合、国際現代美術展の入場券収入は、展示面積に応じた入場制限（混雑時の制限）による減少も想定される。

### イ 支出

増加する経費は、「業務委託費」、「会場運営経費」、「新型コロナウイルス感染症の感染防止対策経費」。その他にも、入場券販売に伴う認識用リストバンドや予約システムを導入する場合には、その経費の増加が見込まれる。

また、国際芸術祭「あいち 2022」は、まちなか会場が多く、展示会場が広範囲に点在する。そのため、「ヨコハマトリエンナーレ 2020」のように、美術館の入口カ所で検温等の新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施できる状況ではないことから、新型コロナウイルス感染症の感染対策にかかる費用については、相当の増加が想定される。

### (3) 国際芸術祭「あいち 2022」の見込

#### ア 収入

641,948 千円

(「あいちトリエンナーレ 2019」より 405,853 千円の減少)

(内訳) ※過去の実績から積算。なお、事業収入、寄付金等収入については、ヨコハマトリエンナーレ 2020 の事例 (P. 82 1 (1) 参照) を引用して、69%で積算する。

・ 事業収入	92,913 千円
国際現代美術展入場券収入	83,934 千円 (121,644 千円 × 69%) ※1
カタログ等販売収入	108 千円 ( 156 千円 × 69%)
舞台芸術入場券収入	8,871 千円 ( 12,857 千円 × 69%) ※2
・ 寄付金等収入	15,022 千円
寄付金収入	10,162 千円 ( 14,728 千円 × 69%) ※3
民間助成金収入	1,582 千円 ( 2,293 千円 × 69%)
広告収入	3,278 千円 ( 4,750 千円 × 69%)
・ 公的負担金収入	534,012 千円
愛知県負担金	534,012 千円
名古屋市負担金	0 千円
・ 雑収入	1 千円

※1 国際現代美術展入場券収入については、2019 年は一連の騒動等の影響が大きく、積算根拠として適さないため、2016 年実績で積算する。

※2 舞台芸術入場券収入については、音楽プログラムを取りやめるため、2019 年実績のうち、パフォーミングアーツの実績のみで積算する。

※3 寄付金収入については、2019 年実績から監督協賛を除いた金額で積算する。

#### イ 支出

現代美術展の作家選定中であり、作品展示場所等も決定していないなど、不確定要素が多いため、現時点では見込を立てることが困難である。

## 2 チケット制度

- ・新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底する場合、チケットのめぐりにおける接触機会を減らすため、Webチケットの導入が効果的である。一方で、まちなか会場が多い国際芸術祭「あいち2022」では、会場ごとに設置が必要となるQRコード認証等のためのタブレット等の経費が、相当額必要と想定されるため、導入にあたっては、経費面での検討も必要となる。
- ・来場者が集中すると見込まれる会場・箇所は、予約制を検討する。
- ・予約制の中でも、事前にWeb等で予約する方法と、当日来場して予約する方法の併用を検討する。

## 3 その他

- ・予約制になる場合、業務の増加が予想されるため、コールセンターの役割の明確化をする。
- ・チケット管理センターは、別途必要となる。
- ・Webでのコンテンツの観覧を活用する場合は、問合せ対応が必要となる（コールセンターの人員の増加）。

新型コロナウイルス感染症対策調査  
調査報告書  
2021年7月発行

国際芸術祭「あいち」組織委員会  
(愛知県県民文化局文化部文化芸術課国際芸術祭推進室内)  
名古屋市東区東桜1-13-2  
愛知芸術文化センター6階  
電話 052-971-3111